

## 小中一貫教育のこれまでの取組の課題

平成26年度「小中一貫教育等についての実態調査」(文部科学省)

### 小中一貫教育を実施している市区町村の回答

総合的な評価

大きな課題が認められる	3%
課題が認められる	74%
課題があまり認められない	20%
ほとんど課題が認められない	2%

具体的な課題	大きな課題が認められる	課題が認められる	計
交流を図る際の <b>移動手段・移動時間</b> の確保	45%	48%	93%
小中合同の <b>研修時間</b> の確保	14%	54%	90%
小中の教職員間で <b>打合せ時間</b> の確保	20%	57%	77%
教職員の <b>負担感・多忙感</b> の解消	18%	59%	77%
9年間の系統性に配慮した <b>指導計画</b> の作成・教材の開発	5%	58%	63%
成果・課題の <b>可視化</b> と関係者間での共有	6%	55%	61%
成果や課題の <b>分析・評価手法</b> の確立	4%	57%	61%
<b>年間行事予定</b> の調整・共通化	6%	51%	57%

### 小中一貫教育を実施している学校の回答 (n=1130)

総合的な評価

大きな課題が認められる	7%
課題が認められる	80%
課題があまり認められない	12%
ほとんど課題が認められない	2%

具体的な課題	大きな課題が認められる	課題が認められる	計
教職員の <b>負担感・多忙感</b> の解消	27%	58%	85%
小中の教職員間で <b>打合せ時間</b> の確保	26%	56%	82%
小中合同の <b>研修時間</b> の確保	21%	54%	75%
9年間の系統性に配慮した <b>指導計画</b> の作成・教材の開発	8%	63%	71%
交流を図る際の <b>移動手段・移動時間</b> の確保	19%	38%	57%
教職員間での <b>負担の不均衡</b>	12%	54%	66%